



小象の糖尿病通信

糖尿病と上手にお付き合いするために



日本糖尿病対策推進会議 パンフレットより

H24年4月からHbA1cが変わりました！

糖尿病の検査の中でも一番気になるHbA1cですが、国際標準化に伴い、測定値と基準値が変更されました。

1. HbA1cとは？

血液の中に含まれるブドウ糖は、赤血球の中に含まれるヘモグロビンというたんぱく質と最初はゆるく、やがてしっかりと結びつきます。この糖がくっついたヘモグロビンの割合をHbA1cとして測定すると、1-3か月の間の血糖の状態が平均してどうだったか、がわかります。

2. 日本のHbA1c (JDS)、世界のHbA1c (NGSP)

HbA1cは、血糖のコントロールを見る検査として世界中で広く使われています。しかし、日本での測定値と、世界のほとんどの国での測定値には違いがあり、診断や治療に関する研究にはとても不便でした。そこで、日本の測定値を世界基準に変更することになりました。

新(2012年4月～)

- 優** HbA1c(NGSP)6.2%未満
- 良** HbA1c(NGSP)6.9%未満
- 可** HbA1c(NGSP)7.4%未満

3. どのように変わったのでしょうか？

病院や診療所では、2012年4月1日から変更となりました。実際には、面倒な計算式で換算するのですが、以下の式で簡単に求めることができます。

●HbA1c(JDS)からHbA1c(NGSP)への換算式

	HbA1c(JDS)		
	4.9%以下の場合	5.0~9.9% (上記をきむ)の場合	10.0~14.9%の場合
NGSP値(%)=	JDS値+0.3%	JDS値+0.4%	JDS値+0.5%

よほどコントロールの悪い人以外は、これまでの値に0.4を足せばよいこととなります。それに伴い、コントロールや診断の基準も変更されます。ですから、コン

ロールが良い人も、悪い人も、評価はそのまま、変わりません。基準値が+0.4%となっても判定が甘くなるわけではありませので要注意です。糖尿病の方は新基準で6.9%以下を目標にしましょう。

4. 特定健診、特定保健指導はH25年度から変更

ただし、特定健診、特定保健指導では、H25年3月まではこれまで通りの日本の基準(JDS 値)を使用することになっています。混乱しないように、必ずその値がJDS値なのか、NGSP 値なのかを確認して判断するようにしましょう。特に、H24年3月以前のHbA1c値と比べるとときには、よく気を付けましょう。 内科 柳澤

コントロールの評価とその範囲

指標	優	良	可		不可
			不十分	不良	
HbA1c(NGSP)(%) HbA1c(JDS)(%)	6.2未満 5.8未満	6.2~6.9未満 5.8~6.5未満	6.9~7.4未満 6.5~7.0未満	7.4~8.4未満 7.0~8.0未満	8.4以上 8.0以上
空腹時血糖値(mg/dL)	80~110未満	110~130未満	130~160未満		160以上
食後2時間血糖値(mg/dL)	80~140未満	140~180未満	180~220未満		220以上

+0.4%
シフト